



NO. 1908  
2014. 8. 31

編集発行  
日本共産党鶴岡市議団  
鶴岡市美原町16-5  
電話22-3313  
qqsw67zb9@bird.ocn.ne.jp

http://www6.ocn.ne.jp/~jcp-tsur/

大高紙 門橋みきし 高橋ち智子  
国会議員連絡所  
県市議団事務所  
鶴岡市美原町16-5  
☎22-3313  
FAX24-4096

無料生活相談所

加藤太一  
稲生 2-6-6  
24-5935

関徹  
長者町11-26  
24-2414

加藤 鈺一  
宝徳 仲田 56  
64-3941

菅井 巖  
中 桶 9 6  
33-0534

# 一般会計13億円追加、基金10億円積立

## 鶴岡市議会9月定例会、2日から開会

鶴岡市議会9月定例会は2日から25日まで開会されます。補正予算では一般会計で13億3201万円

追加し、予算総額は65億5000万円と決算3件、補正4件、条例15件、事件6件、人事5件の計33件と

月の大雨で被害を受けた市道や河川、農業施設の災害復旧に7014万円、鶴岡商工会議所の新産業会館建設補助金が6530万円、小・中学校のスクール

バス購入5台で6171万円、馬場町地内の「タブの木ポケットパーク(仮称)」整備事業1300万円、新産業会館への観光情報プラザ整備事業1000万円、道の駅「月山」に電気自動車の急速充電器整備497万円などです。  
一方、軽自動車税の税率改正では、来年4月以降に購入した新車の軽自動車税が増税となります。  
軽自動車税は現在の7200円から1・5倍の1万8000円に、50cc以下の原付バイクは1000円から2000円に倍増し、2016年4月以降に納めることとなります。  
増税のねらいは、自動車取得税を2015年に廃止し、その穴埋めに軽自動車税の増税を充てること、また米国からTPP交渉参加の条件として軽自動車の税金優遇の廃止を突きつけられていたことです。(2面につづく)

平成26年度 補正予算一覧表 (9月補正)

款	項目	担当課	事業名	補正額	財源内訳				摘要	
					国庫支出金	市債	その他	一般財源		
2	1	3	財政課	各種基金積立金	1,000,000			1,000,000	財政調整基金積立金 600,000千円 減債基金積立金 400,000千円	
2	1	10	情報企画課	電算処理等による事務改善事業	54,900	17,187		37,713	社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)の導入に伴うシステム改修経費	
2	2	1	課税課	市県民税賦課事務	4,382			4,382	地方税法改正に伴うシステム改修経費等	
2	2	1	課税課	固定資産税賦課事務	953			953	固定資産の評価替えに伴うシステム改修経費	
2	2	1	課税課	一般賦課事務	794			794	地方税に係る電子システムeLTAxの改修に伴うシステム改修経費	
3	1	4	国保年金課	国民年金事業	3,779	3,779		0	年金生活者支援給付金法の施行に向けたシステム改修経費	
3	2	1	子育て推進課	放課後児童対策事業	1,700	1,132		568	国の放課後児童クラブ開所時間延長支援事業に係る補助金	
3	2	2	子育て推進課	私立幼稚園振興事業	21,180	4,588		16,592	国の私立幼稚園就園奨励費の拡充に伴う補助金の増額	
6	1	1	農業委員会	農業委員会管理運営事業	3,338	3,338		0	遊休農地の所有者に対する利用意向調査経費等	
6	1	8	農山漁村振興課	多面的機能支払活動支援事業	800	800		0	多面的機能支払交付金事業に係る現地確認経費等の増額	
6	2	2	農山漁村振興課	林業振興対策事業	1,500	1,500		0	県の山の幸振興対策支援事業の内示に伴う補助金	
6	2	4	農山漁村振興課	市有林整備事業	2,100			2,100	羽黒庁舎建設に使用する間伐材の搬出経費	
7	1	2	商工課	商業一般振興事業	65,300			65,300	新産業会館の建設に対する補助金	
7	1	5	観光物産課	月山あさひ博物村管理運営事業	4,970		4,590	380	道の駅「月山」への電気自動車用急速充電設備の整備に係る経費	
7	1	5	観光物産課	鶴岡観光情報プラザ整備事業	10,000			10,000	新産業会館1階への観光情報プラザの整備に係る経費	
8	5	6	都市計画課	タブの木ポケットパーク(仮称)整備事業	13,000		13,000	0	馬場町地内の緑地公園の整備工事費	
9	1	2	消防本部	非常備消防維持管理事業	940		940	0	消防団員等公務災害補償等共済基金の助成による救命胴衣購入経費	
10	1	2	管理課	統合学校・地域支援事業	10,525			10,525	平成27年4月に統廃合する小学校の式典等に係る経費	
10	2	2	管理課	小学校通学対策事業	30,409	7,710	21,300	1,399	国のへき地児童生徒援助費補助金の内示に伴うスクールバス購入費(3台)	
10	3	2	管理課	中学校通学対策事業	31,303	5,140	24,600	1,563	国のへき地児童生徒援助費補助金の内示に伴うスクールバス購入費(2台)	
11	1	1	農山漁村振興課	農地農業用施設災害復旧事業(7月9日～10日の大雨関連)	27,145	17,494	7,700	1,930	21	農地、農道、その他の復旧経費(国庫補助-農地1ヶ所、農道1ヶ所、水路2ヶ所、頭首工1ヶ所)
11	2	1	土木課	市単独災害復旧事業(7月9日～10日の大雨関連)	43,000			43,000		道路、河川の小規模及び単独復旧経費(道路26ヶ所、河川10ヶ所)
					1,332,018	62,668	53,600	20,460	1,195,290	

[ 国民健康保険特別会計 ]										
8	1	1	国保年金課	国保保健指導事業	2,765	2,765			0	特定健康診査未受診者勧奨事業等に係る経費

[ 介護保険特別会計 ]										
1	1	1	長寿介護課	介護保険一般管理費	3,250				3,250	介護報酬の改定等に伴うシステム改修経費
7	1	2	長寿介護課	償還金	32,141				32,141	平成25年度国庫支出金の精算による返還金
					35,391	0	0	0	35,391	

[ 公共下水道事業特別会計 ]										
2	1	1	下水道課	コンポストセンター改築事業	108,000		108,000			コンポストセンターの改修工事費

**市議会9月定例会日程(予定)**  
※開会時刻は10:00です。  
9月 2日(火) 本会議 (開会、提案説明、総括質問等)  
4日(木) 本会議(一般質問)  
5日(金) 本会議(一般質問) 11時半頃から党市議団  
8日(月) 本会議(一般質問)  
9日(火) 決算特別委員会、予算特別委員会  
10日(水) 常任委員会(総務)  
11日(木) 常任委員会(市民文教)  
12日(金) 常任委員会(厚生)  
16日(火) 常任委員会(産業建設)  
24日(水) 決算特別委員会、予算特別委員会  
25日(木) 本会議(閉会)  
☆請願締切り 8月27日(水)午後1時

条例改正では、市税の税率改正で、平成26年度税制改正により法人住民税の税率が市税分14・7%から12・1%に2・6%引き下げられます(県税分)

### 軽自動車税 大幅引き上げ

25年度決算の状況を踏まえ、財政調整基金に6億円、減債基金に4億円積み立てます。

増税のねらいは、自動車取得税を2015年に廃止し、その穴埋めに軽自動車税の増税を充てること、また米

(1面のつづき)  
ケーブルテレビビジョンの利用料を利用料金制にする条例改正が提案されます。

利用料は自治体の歳入ですが、利用料金は指定管理者が条例の範囲内で定めることが可能となります。

指定管理者のインセンティブが高まり、サービスの質が向上するといわれますが、受益者負担増や情報格差解消の公的役割の後退が懸念されます。

羽黒・朝日地域の公民館コミセン化

羽黒地域と朝日地域の公民館が廃止され、地域活動センター及びコミュニティセンターとする条例改正が提案されます。

藤島地域で今年度から実施されたと同様に、教育委員会所管の教育施設から市長部局に移

下水道課入札結果 ( ) 内は予定価格

8月21日入札分

- ・市集落排水事業 羽黒中央地区農業集落排水処理施設 放流管路新設工事(羽黒町狩谷野目地内) 落札決定保留中 (23,620,000円) 工期~12/26
- ・市集落排水事業 羽黒中央地区管路施設10号新設工事(羽黒町荒川地内ほか) (株)佐藤組 57,150,000円 (58,930,000円) 工期~27/1/15 (落札率97.0%)
- ・市集落排水事業 羽黒中央地区管路施設4号新設工事(羽黒町押口地内ほか) (株)山田工務店 49,300,000円 (50,860,000円) 工期~12/26 (落札率96.9%)

管され、旧鶴岡のコミセン化に統一されることとなります。

交通災害共済廃止に

行政が行ってきた交通災害共済が廃止されます。

市民の約67%が加入しており、年間約500件の見舞金が支給されてきました。

行財政改革で、民間保険が充実しているとの理由で廃止とのことですが、経済的弱者を

含めた低額加入金による交通災害共済の使命は失われていません。

「豊浦小学校」新設

学校統廃合では、小堅小と由良小を廃止、三瀬小に統合して豊浦小学校を新設します。

複式学級の解消を図るとしますが、小学校を失った地域の過疎化に拍車がかかることが心配されます。

いじめ防止対策推進条例が新設されます。

「いじめ防止対策推進法」に基づき、鶴岡市いじめ防止基本方針の策定や、いじめ問題対策連絡協議会、いじめ問題対応委員会、いじめ重大事態調査委員会の設置がされます。

「子ども・子育て支援法」等に基づき、「学

童保育に関する基準」、「家庭的保育事業に関する基準」、「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業に関する基準」が条例で定められます。

# 市民への説明と合意形成が不十分 文化会館建設費増額に反対

8月臨時市議会

鶴岡市議会8月臨時議会が22日開かれ、文化会館建設工事を19億9千万円増額する平成26年度一般会計補正予算案が審議され、賛成多数で可決されました。(賛否は下表)

市は今後、9月下旬に4回目の入札を行うとしています。

日本共産党市議団は関徹、加藤鉦一議員が質疑、関徹議員が反対討論を行いました。

反対討論の要旨は次の通りです。



反対する第1の理由は、事業費の積算のあり方の問題がある。予定価格積算を実勢

に合い、地元業者の適正な事業活動と適切な労賃を保障するものとする積算を求めてきたが、今回に至るまで行われてこなかった。

第2は、大手の参加を予定していること。本市にとって指折りの大事業である文化会館建設は、地元業者の施工として地域経済に資するものとすべきだ。

第3に、市民合意の形成を図る努力が不十分だ。

予定価格高騰の要因は、アベノミクスによる国の公共事業費の異常な拡大政策で、全国的な建設バブルをもたらしていること、中心市街地で歴史的景観地域である現在地に建て替えること、および複雑なデザインによるコスト増がある。

また、現設計は、関係者が市民に公開しながら1年半整備計画を



検討しプロポーザルで選定されたものだが、事業費が約2倍にまで増加した今、再検討が求められる。

しかし市は、一方的な説明の機会をもっただけで、市民と意見交換して合意形成を図る努力をせず、建設業協会からの申入書も情報公開請求されるまで明らかにしなかった。

現時点では、計画についての市民合意は大きく揺らいでいる。

にも関わらず、18日に議会会派代表者会議で説明しただけで、4日後の今日、議決して

2014年8月臨時議会 鶴岡市文化会館改築工事費約20億円増額に対する賛否 (○賛成 ●反対)

市民クラブ				無	日本共産党			政友公明			新政クラブ																						
石井清則	今野美奈子	渡辺洋井	佐藤峯男	加賀山茂	小野由夫	田中宏	関徹	菅井巖	加藤太一	加藤鉦一	秋葉雄	富樫正毅	中沢洋	岡村正博	佐藤文一	上野多一郎	尾形昌彦	五十嵐一彦	小野寺佳克	佐藤博幸	佐藤久樹	菅原一浩	本間信一	佐藤聡	本間新兵衛	野村廣登	齋藤久	今野良和	神尾幸	五十嵐庄一	渋谷耕一		
●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

しまおうとしている。このような大きな問題を市民の声を聞く間もないままに決めてしまふことは不適切だ。このままの設計で進むか、別の選択を考へるか、市民の声に耳を傾け改めて議論する必要があると生じている。1年ばかりの間に日中で建設費が急騰する異常事態の中だからこそ、情報公開と徹底した議論によって市民合意形成を図る市の基本姿勢が問われた。